

# Wi-Fi の子機としてご利用になる場合

本書は、読んだあと大切に保管してください。

技術基準適合認証品

次の手順で子機 (CONVERTER) モードに設定し、親機に Wi-Fi 接続してください。詳しい使いかたについては、**ユーザーズマニュアル** を参照してください。

**2 親機に Wi-Fi 接続する**

子機 W500P からご利用の親機へ Wi-Fi 接続するには、下記どちらかの方法で接続してください。

**WPS で Wi-Fi 接続する**

親機が WPS に対応している場合の Wi-Fi 接続方法です。

Wi-Fi 接続する親機が WPS に対応しているかどうかは、親機の取扱説明書などで確認してください。

**1 子機 W500P のらくらくスタートボタン (SET ボタン) を長押しして、POWER ランプが緑点滅になったら放す**

親機のらくらくスタートボタン (WPS プッシュボタン) を長押しして (約 6 秒)、POWER ランプが緑点滅になったら放す

※ 親機のらくらくスタートボタン (WPS プッシュボタン) および POWER ランプの位置や形状は、装置によって異なります。親機の取扱説明書などで確認してください。

**2 親機のらくらくスタートボタン (WPS プッシュボタン) を長押しして (約 6 秒)、POWER ランプが緑点滅になったら放す**

※ 親機のらくらくスタートボタン (WPS プッシュボタン) および POWER ランプの位置や形状は、装置によって異なります。親機の取扱説明書などで確認してください。

**1 接続して電源を入れる**

子機 W500P の WAN ポートと、パソコンなどの LAN ポートを ETHERNET ケーブルで接続する

電源のケーブルを接続し、約 50 秒待つ

下記どちらかの方法で電源のケーブルを接続し、約 50 秒お待ちください。(自己診断テストが実行されます。テスト中は POWER、ACTIVE、2.4GHz、5GHz、CONVERTER ランプが緑点灯します)

AC アダプタから給電する場合  
添付の AC アダプタを使用します。

パソコンから給電する場合  
添付の USB 電源ケーブルを使用します。

**2 電源のケーブルを接続し、約 50 秒待つ**

下記どちらかの方法で電源のケーブルを接続し、約 50 秒お待ちください。(自己診断テストが実行されます。テスト中は POWER、ACTIVE、2.4GHz、5GHz、CONVERTER ランプが緑点灯します)

AC アダプタから給電する場合  
添付の AC アダプタを使用します。

パソコンから給電する場合  
添付の USB 電源ケーブルを使用します。

**3 子機 W500P の POWER、CONVERTER、WAN ランプが緑点灯する**

子機 W500P の電源をいったん切り、約 10 秒待つ

子機 W500P のらくらくスタートボタン (SET ボタン) を押しながら電源を入れ、CONVERTER ランプが緑点滅したら、ボタンを放す

※ 親機との Wi-Fi 接続はいったん切断されます。

※ 子機 W500P の DHCP サーバ機能が起動します。DHCP サーバ機能が起動中は、CONVERTER ランプが緑点滅します。

★本書では、無線 LAN アクセスポイントを親機、無線 LAN 端末を子機と呼びます。

● Aterm は、日本電気株式会社の登録商標です。

● らくらく無線スタート、らくらく QR スタート、らくらく「かざして」スタートは、NECプラットフォームズ株式会社の高橋または登録商標です。

● Bluetooth は、Bluetooth SIG, Inc. の登録商標です。

● Oracle と Java は、Oracle Corporation およびその子会社、関連会社の米国およびその他の国における登録商標です。

● その他、各会社名、各製品名およびサービス名などは各社の商標または登録商標です。

© NEC Platforms, Ltd. 2013-2014 NECプラットフォームズ株式会社の許可なく複製・改版、および複製物を配布することはできません。

**2 親機に Wi-Fi 接続する**

子機 W500P からご利用の親機へ Wi-Fi 接続するには、下記どちらかの方法で接続してください。

**WPS で Wi-Fi 接続する**

親機が WPS に対応している場合の Wi-Fi 接続方法です。

Wi-Fi 接続する親機が WPS に対応しているかどうかは、親機の取扱説明書などで確認してください。

**1 子機 W500P のらくらくスタートボタン (SET ボタン) を長押しして、POWER ランプが緑点滅になったら放す**

親機のらくらくスタートボタン (WPS プッシュボタン) を長押しして (約 6 秒)、POWER ランプが緑点滅になったら放す

※ 親機のらくらくスタートボタン (WPS プッシュボタン) および POWER ランプの位置や形状は、装置によって異なります。親機の取扱説明書などで確認してください。

**2 親機のらくらくスタートボタン (WPS プッシュボタン) を長押しして (約 6 秒)、POWER ランプが緑点滅になったら放す**

※ 親機のらくらくスタートボタン (WPS プッシュボタン) および POWER ランプの位置や形状は、装置によって異なります。親機の取扱説明書などで確認してください。

**3 しばらく待って、親機の POWER ランプが橙点灯になる**

※ 親機の POWER ランプは、約 10 秒間橙点灯したあと、緑点灯に戻ります。

**4 子機 W500P の ACTIVE ランプが緑点灯する**

Wi-Fi 接続は完了です。

**1 接続して電源を入れる**

子機 W500P の WAN ポートと、パソコンなどの LAN ポートを ETHERNET ケーブルで接続する

電源のケーブルを接続し、約 50 秒待つ

下記どちらかの方法で電源のケーブルを接続し、約 50 秒お待ちください。(自己診断テストが実行されます。テスト中は POWER、ACTIVE、2.4GHz、5GHz、CONVERTER ランプが緑点灯します)

AC アダプタから給電する場合  
添付の AC アダプタを使用します。

パソコンから給電する場合  
添付の USB 電源ケーブルを使用します。

**2 電源のケーブルを接続し、約 50 秒待つ**

下記どちらかの方法で電源のケーブルを接続し、約 50 秒お待ちください。(自己診断テストが実行されます。テスト中は POWER、ACTIVE、2.4GHz、5GHz、CONVERTER ランプが緑点灯します)

AC アダプタから給電する場合  
添付の AC アダプタを使用します。

パソコンから給電する場合  
添付の USB 電源ケーブルを使用します。

**3 子機 W500P の POWER、CONVERTER、WAN ランプが緑点灯する**

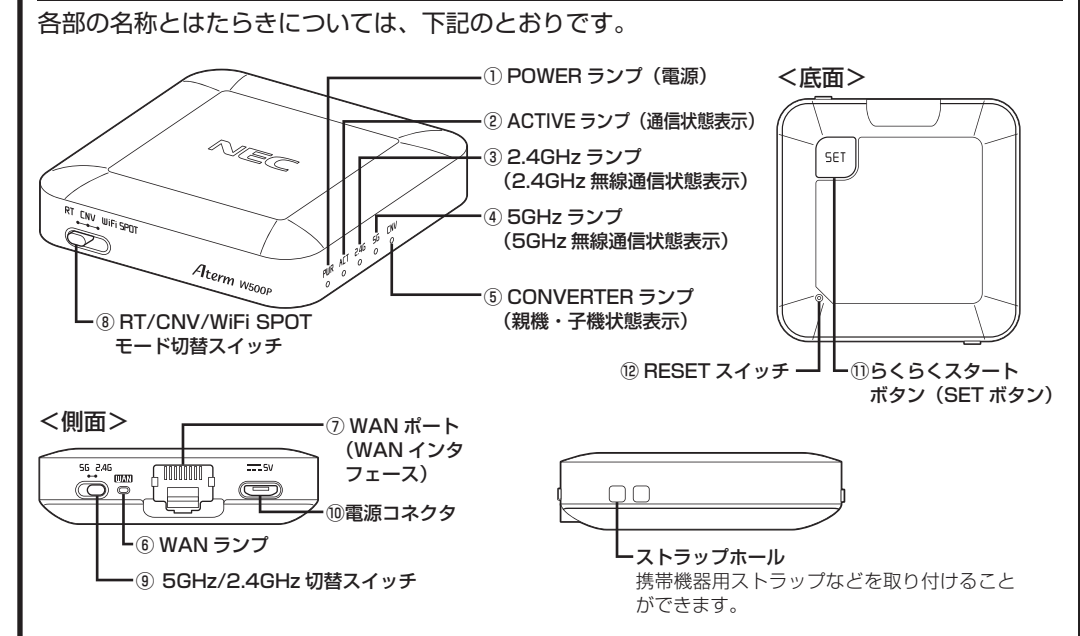
子機 W500P の電源をいったん切り、約 10 秒待つ

子機 W500P のらくらくスタートボタン (SET ボタン) を押しながら電源を入れ、CONVERTER ランプが緑点滅したら、ボタンを放す

※ 親機との Wi-Fi 接続はいったん切断されます。

※ 子機 W500P の DHCP サーバ機能が起動します。DHCP サーバ機能が起動中は、CONVERTER ランプが緑点滅します。

# 各部の名称とはたらき



※ 本商品の電源を入れると、自己診断テストが実行されます。自己診断テスト中は、POWER、ACTIVE、2.4GHz、5GHz、CONVERTER ランプが緑点灯します。

ランプ	点灯 (点滅)	状態
① POWER ランプ (電源)	緑 (点灯)	電源が入っているとき
	緑 (点滅)	らくらく無線スタートまたは WPS で設定しているとき
	橙 (点灯) (※ 1)	ファームウェアをバージョンアップしているとき らくらく無線スタートまたは WPS の設定が完了したとき
	赤 (点灯)	らくらく無線スタート設定をしているとき
② ACTIVE ランプ (通信状態表示)	消灯	初期化準備状態 WPS の設定に失敗したとき 電源が入っていないとき
	緑 (点灯)	ローカルルータモードの場合にインターネット通信が確立しているとき 公衆無線 LAN とのリンクが確立しているとき
	緑 (速い点滅)	公衆無線 LAN 接続で認証中のとき
	緑 (速い点滅)	公衆無線 LAN 接続で認証に失敗したとき
③ 2.4GHz ランプ (2.4GHz 無線通信状態表示) (※ 2)	消灯	プリッジモード (ルータ機能停止) のとき
	緑 (点灯)	ローカルルータモードの場合にインターネット通信が確立しているとき
	緑 (速い点滅)	ローカルルータモードの場合にインターネット通信が確立していないとき
	赤 (点灯)	公衆無線 LAN とのリンクが確立していないとき
④ 5GHz ランプ (5GHz 無線通信状態表示) (※ 2)	消灯	Wi-Fi を使用していないとき
	緑 (点灯)	2.4GHz 帯でデータ送受信しているとき
	緑 (点滅)	2.4GHz 帯でデータ送受信しているとき
	橙 (点灯)	公衆無線 LAN モードのとき (5GHz/2.4GHz 切替スイッチは 2.4G 側に設定)
⑤ 5GHz ランプ (5GHz 無線通信状態表示) (※ 2)	消灯	Wi-Fi を使用していないとき
	緑 (点灯)	5GHz 帯で通信可能なき
	緑 (点滅)	5GHz 帯でデータ送受信しているとき
	橙 (点灯)	公衆無線 LAN モードのとき (5GHz/2.4GHz 切替スイッチは 5G 側に設定)
⑥ CONVERTER ランプ (親機・子機状態表示)	消灯	公衆無線 LAN 接続して、5GHz 帯でデータ送受信しているとき
	緑 (点灯)	電源を入れたときまたは干渉する電波 (レーダー波) がいないか検出しているとき (W53 または W54 を利用している場合)
	緑 (点滅)	Wi-Fi を使用していないとき
	赤 (点灯)	初期化準備状態 WPS の設定に失敗したとき 電源が入っていないとき
⑦ WAN ポート (WAN インタフェース) (※ 3)	消灯	ローカルルータモードの場合、ホテルの客室などにある LAN ポートと接続 公衆無線 LAN モードの場合、LAN ポートとして、パソコンやゲーム機などと接続
	子機 (CONVERTER) モードの場合、LAN ポートとして、パソコンやゲーム機などと接続	
⑧ RT/CNV/WiFi SPOT モード切替スイッチ	緑 (点灯)	子機 (CONVERTER) モードで動作しているとき
	緑 (点滅)	ブリッジモード (ルータ機能停止) で強制 DHCP サーバ機能が動作しているとき
⑨ 5GHz/2.4GHz 切替スイッチ	消灯	親機として動作しているとき
	緑 (点灯)	WAN ポートのリンクが確立しているとき
⑩ 電源コネクタ	緑 (点灯)	電源を入れたとき
	緑 (点滅)	電源を入れたとき
⑪ らくらくスタートボタン (SET ボタン)	消灯	電源を入れたとき
	緑 (点灯)	電源を入れたとき
⑫ RESET スイッチ	消灯	電源を入れたとき
	緑 (点灯)	電源を入れたとき

# クイック設定 Web の起動方法

本商品の設定を変更する場合は、設定画面「クイック設定 Web」で設定します。WWW ブラウザのアドレス欄に下記を入力して起動してください。

http://aterm.me/

※ 「aterm.me」部分を、本商品の IP アドレス (工場出荷時は 192.168.10.1) にして起動することもできます。

※ ユーザー名・パスワード入力画面が表示された場合は、「ユーザー名」(上段)には「admin」と半角小文字で入力し、「パスワード」(下段)にはお客様が設定した管理者パスワードを入力して、「OK」をクリックしてください。管理者パスワードがわからない場合は本商品を初期化してください。(※ 右記「初期化方法」)

※ プリッジモード (ルータ機能停止) でご利用の場合 (ACTIVE ランプが緑点灯している場合) は、下記の手順で起動してください。

- ① 本商品の電源をいったん切る
- ② 本商品のらくらくスタートボタン (SET ボタン) を押しながら電源を入れ、CONVERTER ランプが緑点滅したら放す → 本商品の強制 DHCP サーバが起動します。起動中は CONVERTER ランプが緑点滅します。
- ③ WWW ブラウザのアドレス欄に「http://192.168.1.210/」を入力して起動する

※ クイック設定 Web で設定した内容は、本商品を再起動することで、登録されます。

# クイック設定 Web を起動する

子機 W500P の設定内容を変更する場合は、設定画面「クイック設定 Web」で設定します。

クイック設定 Web の起動方法は下記のとおりです。

WAN ポートに ETHERNET ケーブルが接続された状態で起動してください。

■ DHCP サーバ機能を起動する

- ① 子機 W500P の電源をいったん切り、約 10 秒待つ
- ② 子機 W500P のらくらくスタートボタン (SET ボタン) を押しながら電源を入れ、CONVERTER ランプが緑点滅したら、ボタンを放す

※ 親機との Wi-Fi 接続はいったん切断されます。

※ 子機 W500P の DHCP サーバ機能が起動します。DHCP サーバ機能が起動中は、CONVERTER ランプが緑点滅します。

③ WWW ブラウザを起動し、アドレス欄に子機 W500P の IP アドレス (工場出荷状態では 192.168.1.245) を入力して、設定画面を開く

入力例: http://192.168.1.245/

※ ユーザー名・パスワード入力画面が表示された場合は、「ユーザー名」(上段)には「admin」と半角小文字で入力し、「パスワード」(下段)にはお客様が設定した管理者パスワードを入力して、「OK」をクリックしてください。パスワードがわからない場合は本商品を初期化してください。(※ 右記「初期化方法」)

※ クイック設定 Web で設定した内容は、本商品を再起動することで、登録されます。

# トラブルシューティング

ご利用にあたり、考えられるトラブルとその対処を下記に記載しました。

※ この他にサポートデスクの「機種名を探す」 - [W500P] にある [Q&A] でもさまざまなトラブルと対処を掲載していますので、そちらもあわせてご覧ください。(2013年11月現在)

※ 解決しない場合は、本商品を初期化 (※ 下記「初期化方法」) して、最初から設定し直してください。

**電源を入れたときのトラブル**

■ **POWER ランプが消灯している**  
電源が入っていません。【つながりかたガイド 2】または左記の **STEP1** を参照して、AC アダプタまたは USB 電源ケーブルが確実に接続されていることを確認してください。

■ **公衆無線 LAN に接続する場合のトラブル**

■ **公衆無線 LAN に接続して利用していたが、本商品を紛失してしまった**  
悪意のある第三者に利用されてしまう可能性があるため、接続事業者へご相談いただき、利用停止の手続きをしてください。

■ **契約内容がわからない**  
ご契約の接続事業者へお問い合わせください。

■ **どこで事業者と契約しているかわからない**  
ご契約の接続事業者から届いている請求書などでご確認ください。

■ **前回はできたのに、インターネットに接続できない**  
公衆無線 LAN サービスの 1Day 契約などの契約期間が切れている場合があります。再度契約してください。

■ **外出先などの有線 LAN に接続する場合のトラブル**

■ **CATV (ケーブルテレビ) 回線を使用しているが、ACTIVE ランプが点灯せず、インターネットに接続できない**  
ご利用のモデムによっては、接続したネットワーク機器の MAC アドレスを記憶しているため、モデムの設定をリセットする必要があります。本商品、モデムの順番で電源をいったん切り、しばらく置いておきます。モデムを置いておく時間については、電源を切つて、すぐ電源を入れてもよい場合や、20〜30分もしくは24時間必要な場合など、ケーブルテレビ会社により異なります。モデムを置いておく時間については、ご使用のケーブルテレビ会社へご確認ください。

■ **ACTIVE ランプが色色に点灯している**  
正常なランプ表示です。ブリッジモード (ルータ機能停止) になっています。ルータモード (ルータ機能を使う) に変更したい場合は、クイック設定 Web で設定を変更してください。

※ ルータモード (ルータ機能を使う) に変更する場合は、クイック設定 Web の【詳細モードに切替】をクリックして【詳細モード】画面に切り替え、「基本設定」 - 【基本設定】で【動作モード】を変更してください。

# クイック設定 Web に関するトラブル

■ **クイック設定 Web が対応している WWW ブラウザは?**  
クイック設定 Web が対応している WWW ブラウザの最新情報については、AtermStation (http://121ware.com/aterm/) でご確認ください。

■ **クイック設定 Web が起動できない**

- お使いのパソコンにプロキシが設定されている、ファイアウォール、ウイルスチェックなどのソフトがインストールされている場合、設定ができません。通信が正常に行えない場合があります。
- セカンダリ SSID に Wi-Fi 接続している場合は、工場出荷状態でネットワーク分離機能が設定されているため、クイック設定 Web は表示できません。その場合は、プライマリ SSID に接続して、クイック設定 Web を設定してください。
- AES に対応していない子機の場合は、他の子機からプライマリ SSID に接続して、クイック設定 Web を設定してください。(公衆無線 LAN を Wi-Fi ルータに接続する場合は、有線 LAN 端子から接続してクイック設定 Web を設定することもできます。)
- JavaScript が無効に設定されている  
→ WWW ブラウザの設定で JavaScript を有効に設定してください。
- IP アドレスの取得がうまくいっていないことが考えられます。パソコンの IP アドレスを自動取得に設定してお試しください。

# その他のトラブル

■ **RT/CNV/WiFi SPOT モード切替スイッチで動作モードを設定したのに、設定が切り替わらない**

■ **5GHz/2.4GHz 切替スイッチで無線動作モードを設定したのに、選択した無線動作モードで接続できない**  
RT/CNV/WiFi SPOT モード切替スイッチおよび 5GHz/2.4GHz 切替スイッチは、電源を切った状態で切り替えてください。本商品が動作中にスイッチを切り替えた場合、設定は有効になりません。その場合は、本商品を再起動する必要があります。

■ **本商品を再起動したら、インターネット接続できなくなった**  
本商品の電源を入れた場合や、クイック設定 Web で設定を変更した場合は、本商品が再起動します。本商品を再起動すると、Wi-Fi 接続が切断されますので、お使いの子機から再度接続を行ってください。

■ **Aterm らくらく QR スタートや Aterm らくらく「かざして」スタートで、Wi-Fi 接続に失敗する**

- [Aterm らくらく QR スタート] の Web サイト (http://qr.aterm.jp) (2013年11月現在) または [Aterm らくらく「かざして」スタート] の Web サイト (http://nfc.setup.aterm.jp) (2014年2月予定) にあるトラブルシューティングのページで、Wi-Fi 接続に失敗した場合の対処方法をご案内しています。
- スマートフォン・タブレット端末の環境や使用する Wi-Fi 機器との相性的な問題により、正しく動作しない場合があります。その場合は手動設定で Wi-Fi 接続してください。(※ 【つながりかたガイド 2】 - **STEP2** の「iOS 端末の設定」参照。Android 端末の場合は同様に設定できます。)

■ **無線 LAN 対応プリンタから Wi-Fi 接続しない**  
プリンタの無線 (ワイヤレス) 機能を有効 (ON) にしてから、本商品のネットワーク名 (SSID)・暗号化キーをプリンタに設定してください。なお、WPS に対応している場合は、WPS 機能を使って Wi-Fi 接続を行うことができます。(サポートデスクの [Q&A 検索] で [WPS] を検索すると、手順を確認できます。)

■ **無線状態が良好なのに速度が出ない**  
本商品と子機は 1m 以上離してください。

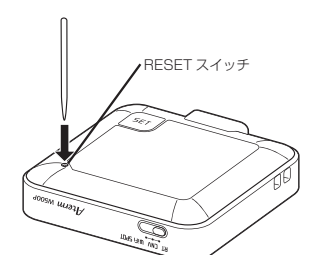
■ **本商品が正常に動作しないが、原因がわからない**  
設定に誤りがあることがあります。どうしても動作しない場合は、本商品を初期化 (※ 下記) してから、最初から設定し直してください。

# 初期化方法

うまく動作しない場合や、設定値を工場出荷状態に戻したい場合は、下記の手順で初期化してください。(お客様にて設定した内容は消去されます。)

初期化する前に、クイック設定 Web の【詳細モード】画面 - 【メンテナンス】 - 「設定値の初期化&保存復元」にて、現在の設定内容を保存すれば、初期化後に再度画面にて復元することができます。

- 1 本商品の POWER ランプが緑点灯していることを確認する  
※ 電源を入れた場合や電源を入れた直後の場合は、約 50 秒お待ちください。
- 2 RESET スイッチを細い棒状のもの (電気を通さない材質のもの。つまようじの先など。) で押し続け、POWER ランプが赤点滅を始めたらず
- 3 本商品の電源を切つて、約 10 秒待ってから電源を入れ直す
- 4 約 1 分待つ  
※ POWER、ACTIVE、2.4GHz、5GHz、CONVERTER ランプが一斉に緑点滅し、その後、POWER ランプが緑点灯したら初期化が完了します。





## 安全にお使いいただくために必ずお読みください

ここでは、あなたや他の人々への危険や財産への損害を未然に防ぎ、本商品を安全にお使いいただくために、守っていただきたい事項を示しています。その表示と図記号の意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。なお、さらに詳細な内容を [「ユーザーズマニュアル」](#)に記載しておりますので、そちらもあわせてお読みください。

### 本書中のマーク説明

**警告**：人が死亡する、または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

**注意**：人が軽傷を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

**お願い**：本商品の本来の性能を発揮できなかつたり、機能停止をまねく内容を示しています。

<b>図記号の説明</b>
<div> <div><span>■</span> 警告・注意を促す記号</div> <div><span>■</span> 行為を禁止する記号</div> <div><span>■</span> 行為を指示する記号</div> </div> <div> <div> 発火注意</div> <div> 感電注意</div> <div> 高温注意</div> <div> 一般禁止</div> <div> 分解禁止</div> <div> 水ぬれ禁止</div> <div> ぬれ手禁止</div> <div> 火気厳禁</div> <div> 風呂等での使用禁止</div> <div> 一般指示</div> <div> 電源プラグをコンセントから抜く</div> </div>

## 警告

### 電源

● AC100Vの家庭用電源以外では使用しないでください。火災、感電の原因となります。差し込み口が2つ以上ある壁の電源コンセントに他の電気製品のACアダプタを差し込む場合は、合計の電流値が電源コンセントの最大値を超えないように注意してください。火災、感電、故障の原因となります。

● ACアダプタの電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたりしないでください。火災、感電の原因となります。また、重いものをのせたり、加熱したりすると電源コードが破損し、火災、感電の原因となります。

● 本商品のACアダプタは、たこ足配線にしないでください。たこ足配線にするとテーブルタップなどが過熱、劣化し、火災の原因となります。

● ACアダプタは、必ず本商品に添付のものをお使いください。また、本商品に添付のACアダプタは、他の製品に使用しないでください。火災、感電、故障の原因となります。

● ACアダプタにものをのせたり布を掛けたりしないでください。過熱し、ケースや電源コードの被覆が溶けて火災、感電の原因となります。

● 本商品に添付のACアダプタは日本国内AC100V(50/60Hz)の電源専用です。他の電源で使用すると火災、感電、故障の原因となります。

● ACアダプタは風通しの悪い狭い場所(収納棚や本棚の後ろなど)に設置しないでください。過熱し、火災や破損の原因となることがあります。ACアダプタは、電源コンセントの近くに設置し、容易に抜き差し可能な状態でご使用ください。

### こんなときは

● 万一、煙が出ている、変なにおいがするなどの異常状態のまま使用すると、火災、感電の原因となります。すぐに本商品のACアダプタまたはUSB電源ケーブルを抜いてください。煙が出なくなるのを確認してから、Atermインフォメーションセンターにご連絡ください。お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。

● 本商品を水や海水につけたり、ぬらさないでください。万一内部に水が入ったり、ぬらした場合は、すぐに本商品のACアダプタまたはUSB電源ケーブルを抜いて、Atermインフォメーションセンターにご連絡ください。そのまま使用すると、火災、感電、故障の原因となることがあります。

## 警告

● 本商品の電源コネクタに導電性異物(金属片、鉛筆の芯など)が触れないようにしてください。また、隙間などから異物が入らないようにしてください。万一、異物が入った場合は、すぐに本商品のACアダプタまたはUSB電源ケーブルを抜いて、Atermインフォメーションセンターにご連絡ください。そのまま使用すると、火災、感電、故障の原因となります。特にお子様のいるご家庭では、ご注意ください。

● ACアダプタの電源コードまたはUSB電源ケーブルが傷んだ状態(芯線の露出・断線など)のまま使用すると火災・感電の原因となります。すぐに本商品のACアダプタまたはUSB電源ケーブルを抜いて、Atermインフォメーションセンターに修理をご依頼ください。

● 強い衝撃を与えたり、落としたり、曲げたりしないでください。万一、落としたり破損した場合は、すぐに本商品のACアダプタまたはUSB電源ケーブルを抜いて、Atermインフォメーションセンターにご連絡ください。そのまま使用すると、火災、感電の原因となることがあります。

### 禁止事項

● 本商品は家庭用のOA機器として設計されております。人命に直接関わる医療機器や、極めて高い信頼性を要求されるシステム(幹線通信機器や電算機システムなど)では使用しないでください。社会的に大きな混乱が発生する恐れがあります。

● 本商品を分解・改造しないでください。火災、感電、故障の原因となります。改造した機器を使用した場合は、電波法に抵触します。

● ぬれた手でコネクタ部分に触れないでください。感電の原因となります。

● 本商品の電源コネクタに変形したUSBコネクタを接続しないでください。火災や故障の原因となります。

● 本商品の電源コネクタに接続する際は、無理に力を加えないでください。火災や故障の原因となります。

● 本商品の内部や周囲でエアダスターやダストスプレーなど、可燃性ガスを使用したスプレーを使用しないでください。引火による爆発、火災の原因となります。

### その他の注意事項

● 航空機内や病院内などの無線機器の使用を禁止された区域では、本商品の電源を切ってください。電子機器や医療機器に影響を与え、事故の原因となります。

● 本商品は高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器や心臓ペースメーカーなどの近くに設置したり、近くで使用したりしないでください。電子機器や心臓ペースメーカーなどが誤動作するなどの原因となることがあります。また、医療用電子機器の近くや病院内など、使用を制限された場所では使用しないでください。

● 本商品のそばに花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水の入った容器、または小さな金属類を置かないでください。また、屋外で使用する場合、本商品がぬれないようにご注意ください。水や液体が中に入った場合、火災、感電、故障の原因となることがあります。

● 引火や爆発の恐れがある場所(ガソリンスタンドなど)や引火性のガスの発生するような場所での使用や放置はしないでください。爆発、発火、破裂、故障、火災の原因となります。

● 風呂場や加湿器のそばなど、湿度の高いところでは設置および使用しないでください。火災、感電、故障の原因となることがあります。

## 注意

### 設置場所

● 直射日光の当たるところや、ストーブ、ヒータなどの発熱器のそば、炎天下の車内など温度の高いところで使用、保管、放置しないでください。機器の変形、故障の原因となります。また、本商品の一部が熱くなり、やけどの原因となったり、内部の温度が上がリ、火災の原因となることがあります。

## 注意

● 温度変化の激しい場所(クーラーや暖房機のそばなど)に置かないでください。本商品の内部に結露が発生し、火災、感電、故障の原因となります。

● 調理台のそばなど油飛びや湯気が当たるような場所、ほこりの多い場所に置かないでください。火災、感電、故障の原因となることがあります。

● ぐらついた台の上や傾いたところなど、不安定な場所に置かないでください。落下しけがの原因となることがあります。

● 本商品を風通しの悪いところに置かないでください。 内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。次のような使い方はしないでください。

- 収納棚や本棚、箱などの風通しの悪い狭い場所に押し込む
- じゅうたんや布団の上に置く
- テーブルクロスなどの布や毛布を掛けたり包んだりする
- 収納ポーチ(添付品)に収納したまま使用する

● 本商品を重ね置きしないでください。また、本商品の上にもを置かないでください。重ね置きや上部にもを置くと、内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

● 本商品を、無理に縦置きにはしないでください。安定せず倒れて、故障や破損の原因となります。

● 本商品の底面を上にして使用しないでください。内部に熱がこもり、故障の原因となったり、通信特性が悪化する原因となります。

### ACアダプタ

● ACアダプタの電源プラグはコンセントに確実に差し込んでください。抜くときは、必ずACアダプタ本体をもって抜いてください。電源コードを引っ張るとコードが傷つき、火災、感電の原因となることがあります。

● ACアダプタの電源プラグとコンセントの間のほこりは、定期的(半年に1回程度)に取り除いてください。火災の原因となることがあります。

● 長期間ご使用にならないときは、安全のため必ず本商品のACアダプタをコンセントから抜いてください。

● 本商品の使用中や使用後のACアダプタが高温になる場合があります。やけどなどの恐れがありますので注意してください。

● ACアダプタのmicroUSB側端子の根本を強く引っ張ったり、曲げたり、ケーブルを機器に丸めたりしないでください。接触不良となったり、電源供給ができなくなります。

### 禁止事項

● 本商品を移動するときは、ACアダプタまたはUSB電源ケーブル、および外部の接続線を外したことを確認のうえ、行ってください。ケーブルなどが傷つき、火災、感電の原因となることがあります。

● 無理な力がかかるところ(ズボンのポケット、かばんの底など)に入れないでください。破損、故障の原因となります。

● 本商品に乗らないでください。特に小さいお子様のいるご家庭ではご注意ください。壊れてけがの原因となることがあります。

● 雷が鳴りだしたら、電源コネクタに接続されているACアダプタまたはUSB電源ケーブルに触れたり周辺機器の接続をしたりしないでください。落雷による感電の原因となります。

● 取扱説明書にしたがって接続してください。間違えると正常に動作しなかつたり、接続機器が故障することがあります。

### その他の注意事項

● 使用中は本商品が熱くなることがありますが、手で触れることができる温度であれば故障ではありません。ただし、長時間触れたまま使用しないでください。低温やけどになることがあります。

● 本商品は動作中に高温になる場合があります。本商品の移動や取り外しの際には、ご注意ください。

● 小児が使用する場合は、保護者が取り扱いの方法を教え、使用の途中においても、指示どおりに使用しているかどうか注意してください。間違った使用はけがの原因となる可能性がありますので十分にご注意ください。

### 無線LAN使用時のセキュリティに関する注意

無線LANでは、ETHERNETケーブルを使用する代わりに、電波を利用してパソコン等と本商品間で情報のやり取りを行うため、電波の届く範囲であれば自由にLAN接続が可能であるという利点があります。その反面、電波はある範囲内であれば障害物(壁等)を超えてすべての場所に届くため、セキュリティに関する設定を行っていない場合、以下のような問題が発生する可能性があります。

- 通信内容を盗み見られる
  - 悪意ある第三者が、電波を故意に傍受し、IDやパスワード又はクレジットカード番号等の個人情報、メールの内容等の通信内容を盗み見られる可能性があります。
- 不正に侵入される
  - 悪意ある第三者が、無断で個人や会社内のネットワークへアクセスし、個人情報や機密情報を取り出す(情報漏洩)
    - 特定の人物になりすまして通信し、不正な情報を流す(なりすまし)
    - 傍受した通信内容を書き換えて発信する(改ざん)
    - コンピュータウイルスなどを流しデータやシステムを破壊する(破壊)
    - などの行為をさせてしまう可能性があります。

本来、無線LAN製品は、セキュリティに関する仕組みを持っていますので、その設定を行って製品を使用することで、上記問題が発生する可能性は少なくなります。セキュリティの設定を行わないで使用した場合の問題を充分理解した上で、お客様自身の判断と責任においてセキュリティに関する設定を行い、製品を使用することをお奨めします。

セキュリティ対策をほどこせず、あるいは、無線LANの仕様上やむをえない事情によりセキュリティの問題が発生してしまった場合、当社はこれによって生じた損害に対する責任は一切負いかねますのであらかじめご了承ください。

なお、無線LANをより安全にお使いいただくために、本商品の暗号化キー、PINコードは定期的に変更することをお奨めします。変更は、クイック設定Webで行います。(※表面の「クイック設定Webの起動方法」暗号化キーは [Wi-Fi詳細設定]、PINコードは [WPS設定] の画面で変更してください。)

### メンテナンスバージョンアップ機能 機器情報の扱いについて

メンテナンスバージョンアップは、本商品のソフトウェアに重要な更新<sup>(※)</sup>があった場合、自動でバージョンアップする機能です。この機能に必要な本商品の機器情報をNECプラットフォームズ株式会社(以下「当社」とします。))のサーバに通知いたします。

(1) 通知される機器情報

- お客様がご使用になっている本商品の機器情報
- お客様がご使用になっている本商品のネットワーク情報

(2) 情報利用の目的について

- 本機能の実現と本商品や本機能の改善、向上のためにお客様の機器情報を利用いたします。
- お客様の機器情報は、本機能を実現するために利用し、これ以外の目的では利用いたしません。

(3) 情報の管理

- 当社が利用するお客様の情報につきましては、当社の取り扱い手続きに則り、適切な管理を行います。
- 当社が第三者と連携して実施する本機能につきましては、当社の取り扱ひ手続き同様に適切な管理を実施します。

本機能は、工場出荷時に機能が有効になっておりまして、お客様が本商品の電源を入れることで機能の提供が開始されます。本機能を必要とされない場合は、下記手順で機能を停止してください。

<停止方法>
①クイック設定 Web を起動する(※表面の「クイック設定 Web の起動方法」)
②「ファームウェア更新」を選択する
※「詳細モード」の場合は、「メンテナンス」－「ファームウェア更新」を選択します。
③「メンテナンスバージョンアップ機能」で「使用しない」を選択する
④「設定」をクリックする

(※)「重要な更新」とは、当社が本商品の機能を提供するうえでソフトウェアのバージョンアップが必須と判断した場合を示します。重要な更新がある場合は、当社ホームページ サポートデスクの「製品に関する重要なお知らせ」にてご案内します。

### 電波に関する注意事項

● 本商品は、技術基準適合証明を受けています。
● 本商品は、IEEE802.11ac、IEEE802.11n(5GHz帯)およびIEEE802.11a通信利用時は5GHz帯の電波を使用しております。5.2GHz、5.3GHz帯の電波の屋外での使用は電波法により禁止されています。
● 5GHz帯で使用するチャネルは36,40,44,48ch(W52)と52,56,60,64ch(W53)と100,104,108,112,116,120,124,128,132,136,140ch(W56)です。従来のIEEE802.11aで使用の34,38,42,46ch(J52)の装置とIEEE802.11aモードでの通信はできません。

IEEE802.11b/g	・W52(5.2GHz帯/36,40,44,48ch)、
IEEE802.11g	・W53(5.3GHz帯/52,56,60,64ch)、
IEEE802.11a	・W56(5.6GHz帯/100,104,108,112,116,120,124,128,132,136,140ch)が利用できます。

5GHz帯で接続する子機は、以下の表示があるものを推奨します。

・W52(5.2GHz帯/36,40,44,48ch)
・W53(5.3GHz帯/52,56,60,64ch)
・W56(5.6GHz帯/100,104,108,112,116,120,124,128,132,136,140ch)

● W53(52/56/60/64ch)またはW56(100/104/108/112/116/120/124/128/132/136/140ch)を選択した場合は、法令により次のような制限事項があります。

- 各チャネルの通信開始前に、1分間のレーダー検出を行いますので、その間は通信を行えません。
- 通信中にレーダー波を検出した場合は、自動的にチャネルを変更しますので、通信が中断されることがあります。

● 本商品は、2.4GHz帯の電波を使用しており、この周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療機器のほか、他の同種無線局、工場・製造ラインなどで使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定小電力無線局、アマチュア無線局など(以下「他の無線局」と略す)が運用されています。

● 2.4GHz帯使用のBluetooth機器との通信はできません。
● IEEE802.11n(2.4GHz帯)、IEEE802.11g、IEEE802.11b通信利用時は、2.4GHz全帯域を使用する無線設備であり、移動体識別装置の帯域が回避可能です。変調方式としてDS-SS方式および、OFDM方式を採用しており、与干渉距離は40mです。

<b>2.4DS/OF4</b>	2.4	：2.4GHz帯を使用する無線設備を示す
	DS/OF	：DS-SS方式およびOFDM方式を示す
	4	：想定される干渉距離が40m以下であることを示す
	■ ■ ■ ■	：全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能であることを意味する

(1) 本商品を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
(2) 万一、本商品と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合は、速やかに本商品の使用チャネルを変更するか、使用場所を変えるか、または機器の運用を停止(電波の発射を停止)してください。なお、デュアルチャネル(HT40)を「使用しない」に設定を変更することで改善することもあります。
(3) その他、電波干渉の事例が発生し、お困りのことが起きた場合には、Atermインフォメーションセンターにお問い合わせください。

### 電波障害自主規制について

この装置は、クラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

VCCI-B

### 輸出する際の注意事項

本製品(ソフトウェアを含む)は日本国内仕様であり外国の規格などには準拠しておりません。本製品を日本国外で使用された場合、弊社はいっさい責任を負いません。また、弊社は本製品に関し海外での保守サービスおよび技術サポートなどは行っていません。本製品の輸出(非居住者への役務提供等を含む)に際しては、外国為替及び外国貿易法等、関連する輸出管理法等をご確認の上、必要な手続きをお取りください。ご不明な場合、または輸出許可等申請手続きにあたり資料等が必要な場合には、お買い上げの販売店またはお近くの弊社営業拠点にご相談ください。

### 廃棄方法について

この商品を廃棄するときは地方自治体の条例に従って処理してください。詳しくは各地方自治体にお問い合わせ願います。

### ご注意

(1) 本書の内容の一部または全部を無断転載・無断複写することは禁止されています。
(2) 本書の内容については、将来予告なしに変更することがあります。
(3) 本書の内容については万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り・記載もれなどお気づきの点がありましたらご連絡ください。
(4) 本商品の故障・誤動作・天災・不具合あるいは停電などの外部要因によって通信などの機会を逸したために生じた損害などの純粋経済損失につきましては、当社はいっさいその責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
(5) セキュリティ対策をほどこせず、あるいは、無線LANの仕様上やむをえない事情によりセキュリティの問題が発生してしまった場合、当社は、これによって生じた損害に対する責任は一切負いかねますのであらかじめご了承ください。
(6) セットアップの機能も不適切な扱いや不測の事態(例えば落雷や雷電など)により故障してしまつては能力を発揮できません。取扱説明書をよくお読みになり、記載されている注意事項を必ずお守りください。

### 本商品が使用しているソフトウェアについて

本商品には、GNU General Public License (GPL)またはGNU Lesser General Public License (LGPL)に基づきライセンスされるソフトウェアが含まれています。お客様は、当該ソフトウェアのソースコードを入手し、GPLまたはLGPLにしたがい、複製、頒布および改造することができます。詳細は「ユーザーズマニュアル」を参照してください。